

「アフリカのポンペイ」ティムガットをはじめ、6つの世界遺産を巡る

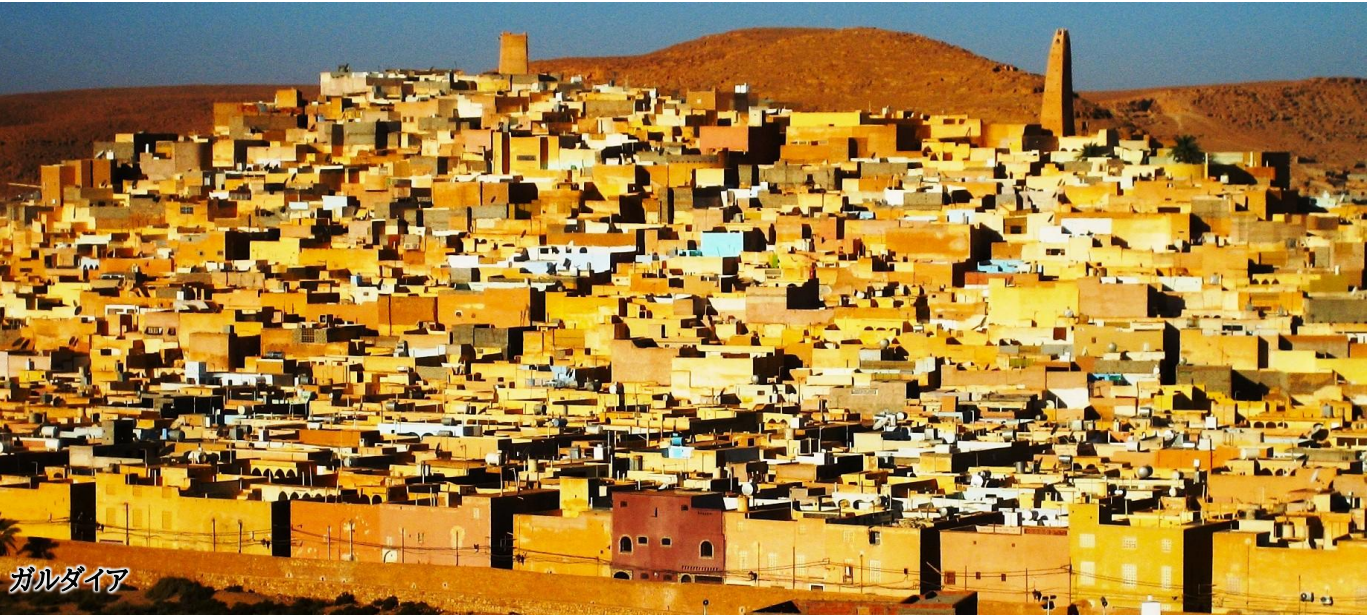
千歳発着13日間

アルジェリア紀行　世界遺産ムザブの谷と望郷アルジェ

ご旅行期間とご旅行代金

2027年3月8日(月)発～3月20日(土)着…¥748,000

お一人部屋利用追加料金　¥98,000



橋の街・コンスタンティーヌ

世界遺産・ムザブの谷

元々、サリム・パティムの名で呼ばれていたヌミディア人の集落は、ギリシャの入植民の助けを借りて、紀元前3世紀頃に都市を意味するキルタと名称を変え、**ヌミディア王国の首都**となりました。その後、キルタは北アフリカでも有数の大都市となり、1万人以上の騎兵隊を持つまでになりました。しかし、ローマ帝国との戦争に敗れたヌミディア王国は、ローマ帝国に支配されましたが、立地的な重要さからローマ帝国の北アフリカ諸州の中でも特別な都市と考えられていました。その後、キルタは戦争によって莫大な被害を受けたため、313年に新しく再建され、**皇帝コンスタンティヌス1世の名**をとって「コンスタンティーヌ」という名になりました。のちにヴァンダル族、東ローマ帝国、アラブ人、オスマントルコ帝国に支配されていきますが、今では**中世の町並みを残す古都**として知られています。また、地形的な理由から4本の吊り橋が架かり、その中でも最も有名な**シディ・ムシダ橋**は、幅6メートル、長さ160メートル、高さは175メートルもある非常に美しい橋です。街のいたる所に撮影ポイントがあるので、お写真好きな方にもおすすめの街です。

アルジェから南へ約450km、サハラ砂漠北部のムザブの谷では、ベージュや象牙色、明るいトルコブルーに塗られた立方体の家々が、谷の中の5つの小高い丘を埋め尽くしています。夕暮れ時には、青く塗られた外壁が、より青みを深めて幻想性を増してきます。そんなムザブを愛した西欧人の代表が**スイス生まれの建築家ル・コンピュジエ**です。彼はインスピレーションが枯渇するところを訪ねました。キュービズム(立体主義)を建築に取り入れ、独自の建築を試みた彼の発想の原点は、この**ムザブのユニークな風景**でした。世界遺産に指定されたパステルカラーの5つの村、**ガルダイア、エルアーティフ、ブノラ、ベニ・イスグエン、メリカを築いたのはベルベル人の一部族、ムザブ族**でした。『コーラン』を厳格に解釈し、「イスラム教の清教徒」と言われた彼らは、イスラム世界では異端とされていました。主流派から迫害を受けた彼らは信仰の場を求め、流浪の末に11世紀初め、この地にたどりついたと言われています。年間降水量が200mmという不毛で岩だらけの潤れ谷を、彼らは少しずつオアシスへと変えていき、井戸を多数掘り、高度な地下灌漑水路を通してナツメヤシなどの植林をしました。異民族や主流派の襲撃に備えて、要塞を築き、その中心にモスクを建設。住宅はモスクの周囲に同心円状に建てられ、家族数によって大きさの差はあるものの、平等の精神から、建材やデザインを統一。そして、どの家からもモスクのミナレットが見えるように街が造られました。ル・コンピュジエが愛したムザブの村々は、**計算され尽くした中世の計画都市**でした。一つの村が飽和状態になると、隣の丘に別の村が造られました。こうして5つの村が建設され、さらに郊外にベリアーヌ、ゲラーラの2つの村が築かれました。各村は曲がりくねった階段状の路地が迷路のように結ばれ要塞化しています。アルジェリアの多くの都市が侵入者たちの影響を受けたのに対し、ムザブでは他からの干渉を受けない、伝統的なしきたりを守る厳格な生活が残されました。

アルジェリア6つの世界遺産

- アルジェのカスバ**…映画「望郷」の舞台、海賊「赤髯」が礎を築いたイスラム城塞地区は、**エキゾチックな迷路の世界**です。
- ムザブの谷**…現代のキュービズムに影響を与えた、**パステルカラーの立方体住宅が密集**する11世紀の5つの町は異次元の世界のようなイスラムの聖地です。
- ティムガットの考古遺跡**…良い保存状態で発見されたモザイクが美しく「**アフリカのポンペイ**」と呼ばれるトラヤヌス帝時代のローマ植民都市です。きめ細かい浮彫りが街の繁栄を伝えています。
- ジェミラの考古遺跡**…そのローマ風の美しさにアラブ人たちが魅せられた**カラカラ帝の都市遺跡**で、ローマ風の大通りなどが残っています。林立する列柱は壮観です。
- 要塞都市ベニ・ハマッド**…イラク産のタイルで飾られていた盆地の斜面に広がる**中世の大交易地跡**で、アルジェリア第2の大きさのモスクがありました。モロッコやスペインのいくつかのモスクのミナレットは　このスタイルを踏襲しました。
- ティパサの考古遺跡**…アルジェリア最大のキリスト教聖堂が残る**旧カルタゴ都市遺跡**で、北アフリカで最も重要なキリスト教徒居住区でした。

	都市名	スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地
1	千歳成田	■スーツケース無料託送サービス　ご自宅～空港 ■夕刻、千歳空港より、日本航空にて成田空港へ。 ■深夜、成田空港より、カタール航空にてドーハへ[23:30発]。✕✕✕[機中泊]
2	ドーハアルジェ	■朝、ドーハ着後、カタール航空を乗継ぎ、アルジェリアの首都・アルジェへ[13:25着]。 ■入国審査ののち、専用バスにてホテルへ。✕✕✕[アルジェ泊]
3	アルジェアンナバゲルマ	■朝、航空機にてチュニジアとの国境の街 アンナバ へ。 ■着後、古代ローマ都市 ヒッポ・レジウス遺跡 や、聖オーガスティン聖堂を見学いたします。 ■午後、ゲルマへ。✕✕✕[ゲルマ泊]
4	ゲルマハmam・デバッホコンスタンティーヌ	■午前、専用バスにて ハمام・デバッホ にて、 パムツカレのような石灰華壁の温泉 をご覧ください。 ■午後、アルジェリア東部の中心地でフランス風の町・ コンスタンティーヌ へ。 《 コンスタンティーヌに連泊です 》✕✕✕[コンスタンティーヌ泊]
5	コンスタンティーヌ	■終日、コンスタンティーヌの観光。 コンスタンティーヌで最も美しいシディ・ムシダ吊り橋 や、ヌミディア時代の墓標、ローマ時代の床モザイクなどを展示するコンスタンティーヌ博物館などへご案内します。 ✕✕✕[コンスタンティーヌ泊]
6	コンスタンティーヌジェミラセティフ	■午前、専用バスにて ジェミラ へ。 ■着後、アラビア語で「美しい」という意味を持ち、遺跡の保存状態の良さでも知られる 世界遺産　ジェミラ遺跡 (セプティミウス・セルウェス神殿、美しい床モザイクが充実するジェミラ博物館、一度に36人を洗礼したキリスト教地区の洗礼堂、生贄のレリーフなど)をご案内いたします。 アルジェリアで最も美しい遺跡 です ■その後、 セティフ へ。✕✕✕[セティフ泊]
7	セティフベニ・ハマッドバトナ	■午前、セティフ国立博物館を訪ねます。 ■その後、専用バスにて ベニ・ハマッド へ。中世の隊商路にベルベル人が築いた、11世紀に繁栄を誇ったハマッド朝の都、 世界遺産　ベニ・ハマッドの要塞都市遺跡 を見学いたします。マグレブ様式のモデルとなった高さ25mの大ミナレットで 北アフリカで最古のイスラム建築 をご案内いたします。 ■夕刻、 バトナ へ。✕✕✕[バトナ泊]
8	バトナティムガット	■午前、 アルジェリア最大のローマ遺跡 でモザイクが美しい「アフリカのポンペイ」と讃えられる 世界遺産　ティムガット遺跡 (トラヤヌス帝の凱旋門、北アフリカ最古の図書館、3500人収容の円形劇場など)へご案内いたします。 ■夜、航空機にて11世紀にイスラム教の清教徒のムザブ族が築いた サハラ砂漠の理想郷 、ムザブの谷の観光拠点となるオアシス都市・ ガルダイア へ。※出発する空港は、バトナ、もしくはセティフとなります。 ■着後、専用バスにてホテルへ。 《 ガルダイアに連泊です 》✕✕✕[ガルダイア泊]
9	ガルダイア	■終日、ガルダイアの観光。 ピラミッド型のパステルカラーの街並みが不毛の谷に突然と現れるムザブの谷の 世界遺産の集落 を観光します。ムザブの谷はベルベル人の一部族で流浪の民と呼ばれるムザブ族が築いたイスラム教に厳格な村々です。特に宗教的な制約の厳しいベニ・イスグエンは彼らの聖都であり、 20世紀最大のスイス人建築家ル・コンピュジエが絶賛した基盤状に並ぶ独特な白い短形の家並み がご覧いただけます。また、ムザブで最も絵になるブノラ村のビューポイント、ガルダイアの市場などへご案内します。 ✕✕✕[ガルダイア泊]
10	ガルダイアアルジェティパサシェルシェルアルジェ	■午前、航空機にて、 アルジェ へ戻ります。 ■着後、アルジェ郊外の観光へ。いまだ謎につつまれたままのモーリタニア王家の墓、紺碧の地中海を望むフェニキアとローマ時代の繊細な装飾が伺える都市遺跡 世界遺産　ティパサ (アルジェリア最大のバシリカ式聖堂跡、円形闘技場、カピトリウム神殿など)、シェルシェルの古代水道橋をご案内いたします。昼食は地中海のシーフードです。 ✕✕✕[アルジェ泊]
11	アルジェドーハ	■午前、アルジェ市内観光(アラブ的な雰囲気の小さな軒が密集する迷路のような 世界遺産　アルジェのカスバ 、「アフリカの聖母」の意味を持つノートルダム・ド・アフリク大聖堂、フランス映画「望郷」の舞台として有名なアルジェ港の眺望)。アルジェはフランス時代に建てられた青いバルコニーが優雅に続く南欧風の街並みです。 ■午後、カタール航空にてドーハを経由し、帰国の途へ[15:45発]。✕✕✕[機中泊]
12	成田	■夕刻、成田空港到着[17:55着]。入国審査ののち、ホテルバスにて、空港近郊のホテルへ。 ✕✕✕[成田空港近郊泊]
13	成田千歳	■午前、ホテルバスにて成田空港へ。着後、国内線にて、千歳へ。 ■午後、千歳空港到着後、解散[12:00着]。 ■スーツケース無料託送サービス　空港～ご自宅　✕✕✕

※上記の時間は、すべて現地時間で表示されております。
※表記の「○」はお食事の有を示します。「×」の食事は含まれておりません。
※現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスがお受けになられるよう万全の手配努力を致します。

ご利用予定ホテル

■アルジェ／ラルフ、エル・オウラシ、ニユーディ
■ゲルマ／メルモーラ
■コンスタンティーヌ／ノホテル、エル・シルタ
■セティフ／タージ・エル・ムアダ、イビス
■バトナ／エル・ハヤット、メサウディ
■ガルダイア／ムザブ、エル・ジャヌーヴ、ベルヴェデーレ
※上記ホテル又は同等クラスとなります。

ご旅行条件

■募集人員/12名様定員　■最少催行人員/**6名様**　■全食事付/朝食10回・昼食9回・夕食9回
■国内空港利用料/¥4,590(別途必要)　■旅券残存期間:帰国時6ヶ月以上/見開き2ページ要※**パスポート本体をお預かりします**　■写真/2枚(3.5cm×4.5cm)※背景が無地のカラー写真
■査証料・同取得手数料/¥11,000(別途必要)　■国際観光旅客税[出国税]/¥3,000(別途必要)
■旅行代金には、海外の空港税、出国税、航空保安税が含まれております。
■**昨今の燃油価格上昇につき、燃油サーチャージは含まれておりません。別途徴収させていただきますので、何卒ご理解くださいませ。**　■千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
■スーツケース往復無料託送サービス[ご自宅～空港～ご自宅]
■東京発着:¥15,000割引き
■成田空港に後泊しない場合:¥10,000割引き　※大阪・福岡・中部発着:同一料金
※ビジネスクラス追加料金はお問い合わせください。
※利用航空会社は情勢により、変更する場合がございます。予めお含みおきください。